

第10回神戸国際フルートコンクール

審査員プロフィール

**酒井秀明**（委員長）／日本 洗足学園音楽大学客員教授／日本フルート協会副会長

1977年、国立音楽大学を首席で卒業。同年渡独し、P. マイゼン氏に師事する。1979年ミュンヘン国際音楽コンクールで第3位入賞（1位なし）。1983年、ジュネーブ国際音楽コンクールで第2位（1位なし）に入賞。1984年からフィルハーモニア・フンガリカのソロ・フルーティストとなる。1995年に帰国。以降、リサイタルや、室内楽などでも幅広く活躍する。

[第7・8回大会 審査員 / 第9回大会 審査員委員長]

**ペトリ・アランコ**／フィンランド シベリウス音楽院 講師

ヘルシンキ・シベリウス音楽院を経て、フライブルク音楽大学にてウィリアム・ベネットとハンス＝ペーター・シュミッツの各氏に師事する。1989年神戸国際フルートコンクール、1990年ミュンヘン国際音楽コンクールで1位を受賞。チューリッヒ歌劇場管弦楽団（1987～1988年）、フィンランド放送交響楽団（1988年～2012年）で首席奏者を務めた。2012年よりシベリウス音楽院で教鞭をとり、後進の指導に力を注いでいる。また、神戸のほかに、ミュンヘン国際音楽コンクール、カール・ニールセン国際音楽コンクールなど、世界各地のコンクールで審査員を務めている。

[第2回大会 第1位受賞 / 第6回・8回大会 審査員]

**レナーテ・グライス＝アルミン**／ドイツ 元カールスルーエ音楽大学教授

フルートをクラウス・ショッホ、オーレル・ニコレ、ジャン・ピエール・ランパルの各氏に師事。フライブルク音楽院在学中には、ニコレ氏の助手を務める。国内外の様々なコンクールで受賞。ハンブルク交響楽団の首席フルート奏者を経て、1980年から2017年までカールスルーエ音楽大学教授を務める。演奏活動のほかに、ヨーロッパや日本、韓国、アジア各地のマスタークラスに招聘されている。数多くの国際コンクールでの受賞者や、ヨーロッパ各地でのオーケストラ奏者、音楽大学の指導者を多数輩出している。

**神田寛明**／日本 NHK 交響楽団 首席奏者、桐朋学園大学教授

東京藝術大学、大学院修了。ウィーン国立音楽大学留学。1991年、日本フルートコンベンションコンクールおよび日本管打楽器コンクールにおいて第1位受賞。1992年にはソウルにおいてA.ジョリヴェのフルート協奏曲を韓国初演。これまでに「APPASSIONATA」、「モーツァルト・オペラデュオ」をはじめ多くのCDをリリース。演奏活動のほかに、四重奏を中心に二重奏から大編成のものまで60タイトル以上のフルートアンサンブル作品を編曲・出版している。

[第7回～9回大会 審査員 / 第9・10回大会 運営委員会委員長]

**イ・ソヨン**／韓国 ソウル芸術高等学校 講師

ソウル芸術高等学校卒業後に渡米し、オーバリン大学とイエール大学で研鑽を積む。ミシェル・デポストとランサム・ウィルソンに師事し、数多くのコンクールで受賞する。1992年から2011年まで、韓国の主要オーケストラの一つであるプジョン・フィルハーモニック管弦楽団の首席奏者を務める。ソウルで数多くのコンサートをおこなうほか、ゲスト首席奏者としてアンサンブル・トウキョウと何度か共演している。これまで、韓国芸術総合学校や、ソウル大学校、ソウル芸術高等学校など、韓国の主要な教育機関で教鞭をとっている。

[第8回大会 審査員]

**サラ・ルヴィオン**／フランス フランクフルト歌劇場管弦楽団 首席奏者

レイモン・ギオー、フィリップ・ピエルロ、ヴァンサン・リュカに師事。パリ国立高等音楽院でアラン・マリオンとソフィー・シェリエに師事し、フルートと室内楽で最優秀賞を得て卒業。2002年からフランクフルト歌劇場管弦楽団の首席奏者を務める。ソリストとしてフランクフルト歌劇場管、トゥールーズ国立室内管、イル・ド・フランス国立管、アムステルダム室内管、モスクワ室内管などと共演。14年にはワルシャワの国際ショパン音楽祭でハーブのドゥ・メストレとモーツァルトの協奏曲を演奏し、絶賛された。プラード音楽祭、コルマル国際音楽祭に招かれるなど国際的に活躍。

[第5回大会 第1位受賞]

**高木綾子**／日本 東京藝術大学 准教授

東京藝術大学大学院修了。第70回日本音楽コンクールフルート部門第1位、ジャン=ピエール・ランパル国際フルートコンクール第3位、神戸国際フルートコンクール第3位など多数の受賞歴を誇る。2004年、パリ室内管弦楽団との共演でパリ・デビュー。2000年にCDデビューを果たし、これまでに12枚をリリース。また、テレビ・ラジオ・CM出演など従来のクラシック演奏家の枠にとらわれない活動で各方面から注目を集めている。現在、東京藝術大学准教授、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど後進の指導も行っている。

[第6回大会 第3位受賞]

**アリフェ・グルセン・タトゥ**／トルコ 元ドイツ・トロッシンゲン音楽大学 教授

トルコの音楽学校を卒業後、ドイツでマティアス・ルッターズ、オーレル・ニコレに師事。バーデンバーデン・フライブルグ南西ドイツ放送交響楽団や、フォルツァイム州立歌劇場オーケストラのソロ・フルーティストとして活躍し、ソリストとしてもヨーロッパ各地やアジアでコンサート活動をおこなう。プラハの春音楽祭、神戸国際フルートコンクールなど、数々の国際コンクールで受賞する。1986年にトロッシンゲン音楽大学教授に就任し、近年まで同大学で後進の育成に携わる。

[第1回大会 第1位受賞 / 第4回大会 審査員]

**ヘンリック・ヴィーゼ**／オーストリア バイエルン放送交響楽団 首席奏者

ハンブルグでイングリット・コッホ・デルンブラク氏に、ミュンヘン音楽大学でパウル・マイゼン氏に師事。1995年から2006年まで、バイエルン州立歌劇場の首席奏者を務めたのち、2006年からは、バイエルン放送交響楽団の首席奏者を務めている。1995年ドイツ音楽コンクール、1997年神戸国際フルートコンクール、1998年カール・ニールセン・コンクール、2000年にはミュンヘン国際コンクールなど、国内外の多数の国際コンクールに入賞。数多くのCD録音のほかに、多くの楽譜の校訂や編曲もおこなっている。

[第4回大会 第3位受賞 / 第8回大会 審査員]